

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujihoiku.ne.jp>



= 今号の目次 =

- 1 頁 第16回全国病児保育研究大会について
 2 頁 加盟施設紹介
 よいこの小児科さとう、浜本小児科病児保育室
 医療法人くまのみどう小児科「スマイルルーム」
 社会福祉法人砂原母の会砂原保育園 病後児保育
 室とまと
 3 頁 加盟施設紹介
 病児保育キッズベル品川、新高根キッズハウス

- 医療法人共育会中里小児科病児保育室「あすなる」
 広報委員会からのお願い
 4 頁 ブロック便り 関東ブロックから
 ブロック便り 愛媛ブロック会から
 5 頁 新規加入施設紹介
 6 頁 診察室から6・リレー保育日誌6
 7 頁 新規加入施設紹介
 8 頁 新規加入施設紹介

大阪中之島で全国病児保育研究大会を開催します

第16回全国病児保育研究大会実行委員長 木野 稔

平成18年7月16日(日)と17日(月・海の日)に大阪市中之島の中央公会堂において、第16回全国病児保育研究大会を開催いたします。

メインテーマは「究極の育児支援・病児保育の安全と安心をもとめて」といたしました。病児保育は究極の育児支援である、藤本保会長のお言葉からお借りしますと、「病児保育施設は、子育て中の親が最も困難を感じ不安に陥る病気の子どものトータルケアを、医師の管理化で専門家集団により手厚く実施し、地域の子育て機能を回復させるセンターの役割を果たしていると言えます。病児保育は親にとっても、親と子を支える地域にとっても、高度な知識と技術を駆使して行う最も必要度が高い育児支援、究極の育児支援なのです。」

一方、医療関係者には、疾病に悩む人々の不安を取り除き、安全で安心な医療を提供する使命があります。あらゆる医療行為は、患者と医療者との間に信頼関係が成り立ってこと意味を持つのです。医療ミスや診療行為そのものに対する不満が高まっている今日の状況は異常事態であるといっても過言ではありません。

病児保育室は医療を施す施設ではありませんが、病児を対象としているという点で、安全を保障し、安心と満足を与えるために、専門的な保育看護の知識と技術が必要とされています。厚生労働省では、平成17年度の「子ども子育て応援プラン」において、今後5年間に全国で1500か所へと3倍以上

に増やす計画がなされています。

今回の大会は、病児保育の事業が全国に広く展開されるだけでなく、究極の育児支援として医療的な側面にも配慮が行き届くことを願ってメインテーマを掲げました。

例年通り、7月の連休を2日間使って大会プログラムを作成いたしました。帆足顧問の基調講演にはじまり、藤本会長の特別講演で締めくくるという編成になりました。本協議会の根幹を貫く理念が明確に示されるものと期待しています。また教育講演は子どものトラウマに関する臨床心理や患者から見た医療のあり方について、地元大阪でオピニオンリーダーとして活躍されている方々をお願いしています。

研修プログラムは、新しくなった基礎研修プログラムの第2回目となります。総論、保育、看護、保育看護の各項目を通して履修することで、保育看護の専門性をより高めることができるでしょう。

さらに、ステップアップ研修では、日本独特な心の妙薬・甘えについて考えてみたいと思います。施設長研修は、経験豊かな施設から話題提供をいただく一方で、これからはじめようとされる方の自由な意見を含む幅広い対象で一般公募いたします。

研究大会の主目的である研究発表については、今回はポスター発表に重点をおくつもりです。幸いにして広いポスター会場を確保することができましたので、ポスター掲示だけでなく各セッションに分かれて口答発表とディスカッションをしていただけるように

いたします。

分科会もテーマ毎に行いますが、時間に余裕を持たせるためには、演題数を限ることになるかもしれません。その時でも、十分にポスター部門で成果を発表していただくようにいたします。演題を募集する前から、数を制限するようなことを申しましたが、本音は一題でも多く一般演題をいただきたいという気持ちで一杯です。何卒よろしく願いいたします。その他、要望の大きい「なんでも相談コーナー」も予定しています。

協議会員施設のスタッフの研究・研修に役立つことが第一の目的ですが、それだけでなく病児保育に関連する方、小児医療・保育・福祉に興味のある方、保育関連の学生の方々まで幅広く集っていただき、各自意義を高めてもらいたいと切に希望しています。

大会会場の大阪中央公会堂は、大正時代のネオ・ルネッサンス様式の歴史的建築物で平成14年にリニューアルオープンした、国の指定重要文化財です。大阪の中心、中之島には、見るべき現代建築、近代建築が所狭しと並んでいます。南北に通る御堂筋沿いには、日銀大阪支店と大阪市庁舎、その隣に府立中之島図書館、そしてその隣にこの中央公会堂があります。アーチと赤レンガが印象的で夜にはライトアップされた姿が美しく浮かびます。大阪の文化の一面を再発見していただけたと思います。

どうぞ、全国から一人でも多くの方がご参加くださいますようお願いしております。

加盟施設紹介

よいこの小児科さとう

病児保育室「よいこのもり」

「よいこのもり」は開設して5年、新潟市で最初の病児保育委託事業として、よいこの小児科さとうに併設されました。

開放的な雰囲気で子どもたちが過ごせるよう、前面がサンルームとなっておりテラスに囲まれています。ここから差し込む日差しが素晴らしく、四季を感じることができます。

子どもたちの状態によっては、テラスに出てシャボン玉をして遊ぶこともあり、医院の待合室の窓から、診察に訪れている子どもたちがうらやましそに

こちらを眺めている姿も見られます。

病気の時でも楽しさを味わわせてあげたい、そういう心がけ、明るい表情があふれる保育室になるよう努めています。帰り際に「また来るね!!」とってくれる子どもたちの笑顔が何より嬉しく励みとなっています。

保育士 石田 祐美子
所在地:950-0983
新潟県新潟市神道寺1丁目5番47号
TEL:025-290-2030



医療法人くまのみどう小児科

「スマイルルーム」

当院の病児デイサービスセンター「スマイルルーム」は、平成14年4月に宇佐市より委託を受け、医療機関併設型の施設として開設しました。

対象となるのは、生後0ヵ月～小学校低学年までの病児で、母親の就労に関係なく利用することができます。

医療機関併設型のため子どもの状態の変化に応じて保育士、看護師、医師へと連携が迅速に対応できることがメリットです。

保育士、看護師が、それぞれの経験を生かし、子どもの状態を把握して、慣れない場所

での不安を感じさせないように遊びの展開、部屋のオーナメントなど工夫をしています。

子どもたちはもちろん、保護者の方にも安心していただけるよう心がけ、より良い保育看護を目指してがんばっています。

看護師 高橋 里美
所在地:879-0471
大分県宇佐市四日市10-1
TEL:0978-32-1500



浜本小児科病児保育室

大阪市の委託事業として平成15年12月に医療機関併設型で開設して約1年半がたちました。大阪市では8番目の施設で、構想自体も施設も10年前から暖めていたものです。

保育の対象は専ら急性期の乳幼児ですが、入院の対象になるような児童も預かることが多く、スタッフは気の休まる暇もありません。定員4名とは言っても6名を保育することもあり、異なった種類の感染病児の保育には隔離の徹底や院内感染の予防対策にも腐心し、施設を2ヵ所に分離して感染防御に努め

ています。

保育所で急に発熱して親に早退お迎えの通知が行くような場合には、親に代わって代行する業務や、NTTフォームによる動画を勤務先の親との間で交信して親の不安を和らげるといったサービスも提供して便宜を図るように配慮しています。

医師 浜本 芳彦
所在地:559-0033
大阪市住之江区南港中2-1-99
TEL:06-6612-3231



社会福祉法人砂原母の会

砂原保育園 病後児保育室とまと

平成16年10月1日に葛飾区の委託事業として、区内で初めて開設した保育所併設型病後児保育室です。定員は4名で0歳児から就学前のお子さんを、お預かりしています。

「どうして“とまと”という名前にしたの?」とよく聞かれます。小さい子どもでも知っていて、誰でもわかる、親しみやすい名前を、と思いつけました。

家庭のような保育室、暖かいぬくもりのある木のおもちゃ、思わず大人も遊びたくなるような、ままごとキッチンセット。

大人も子どももホッとできて、心も体も元気になる、そんな病後児保育室をめざしています。

保育士 稲垣 春子
所在地:152-0002
東京都葛飾区西亀有4-8-19
TEL:03-3605-0420



加盟施設紹介

病児保育キッズベル品川

キッズベル品川は、平成17年1月に東京都品川区にある鈴の木こどもクリニックの併設施設として開設されました。

定員は4名で、生後6ヶ月から就学前のお子さんをお預かりしています。品川区では病児保育のニーズは高く、開設して5ヶ月余りですが、利用者は約120名になりました。

午前と午後、クリニックの医師(施設長)が回診を行うので、利用者のお母さんの安心感は抜群です。

温かな環境のなかで、病気の子どもたちが安心して休め、楽し

く過ごせるように、子どもたちの個性も尊重しながら、保育士、看護師、栄養士などのスタッフがそれぞれの専門性を生かしつつ、協力し合っていきたいと思っています。

看護師 荒井 英津子
所在地:142-0041
東京都品川区戸越
1-3-1 夢の子ども館
TEL:03-3786-6191



医療法人共育会中里小児科

病児保育室「あすなろ」

当施設は、医療機関併設型で、平成15年11月に開設され、翌12月よりさいたま市の依託を受けて現在に至ります。

定員は4名で、生後6ヶ月から小学校入学前の乳幼児を保育看護しています。スタッフは専任の看護師1名、保育士3名で開設当初から同メンバーで、日々より良い病児保育室になるよう努力しております。

家庭にいるような暖かい雰囲気作りを心がけ、一人一人の病状に合わせ、その子のペース、生活リズムを大切に日々保育看護の

内容を考えています。微力ではありますが、子育てに悩むお母様方の支援をし、親子ともに安心して過ごせるようなサポートをしていきたいと思っています。

保育士 上村 明子
所在地:337-0051
埼玉県さいたま市見沼区東大宮 6-22-6
TEL:048-675-3265



新高根キッズハウス

新高根キッズハウスは、平成13年7月に、千葉県船橋市に病児後保育事業の依託を受け開設しました。

当施設は、伝染病の子どものための隔離部屋が2部屋と日常疾患の子どものための1部屋があり、全室が見渡せるように、壁の一部を強化プラスチックで造り、また自然な光がたくさん差し込むように、窓を多くしています。

各保育室は、こどもたちの不安を少しでも取り除くことができるように壁面を飾り、明るい雰囲気をお作っています。

定員4名の少人数なので、家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの個性を大切に、子どもを生活に乗せるのではなく、子どものリズムに合わせられるような手厚い看護保育を目指し、日々努力していきたいと思っています。

保育士 桂嶋 良太
所在地:274-0814
千葉県船橋市新高根
4-7-8
TEL:047-469-4801



広報委員会からのお願い

協議会加盟施設・準会員のみなさん、病児保育ニュースのご愛読ありがとうございます。

広報委員会では、病児保育ニュース通常号を年4回発行すべく作業を進めています。しかし、ここ数年原稿不足のため年3回しか発行できていません。

加盟施設も300を超えた現在、全ての加盟施設が一同に会する事が不可能に近い状態となっている中で、病児保育ニュースが、協議会や全国の加盟施設の様子を知る重要な役割を担っていると、広報委員会は考えています。ぜひ、広報委員会からの原稿依頼に積極的に御協力下さい。

また、原稿・御意見等もどしどしお寄せ下さい。送り先は以下の広報委員までお願いします。

〒036-8092 青森県弘前市城東北 4-4-20
城東こどもクリニック ことりの森 担当:竹内
TEL0172-29-3112 FAX0172-29-3118

〒266-0031 千葉県緑区おゆみ野 3-24-3
バンビーノ 担当:佐藤
TEL043-293-2503 FAX043-293-2503

〒458-0006 名古屋市緑区細口 3丁目 531
なずな病児保育室 担当:前田
TEL052-877-7588 FAX052-877-7595

〒536-0001 大阪市城東区古市 1-19-23 大阪福祉事業財団すみれ乳児院
すみれこどもケアルーム 担当:小田
TEL06-6934-8868 FAX06-6934-8868

〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須 3丁目 8-56
ますだ小児科内病児保育室バンビ 担当:増田
TEL082-508-2323 FAX082-508-2324

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

関東ブロックから 千葉市内病児保育室 施設交流会 バンピーノ 佐藤 里美

千葉市内には現在7施設の病児保育室があり、一昨年より、年に1回、施設交流会を行っています。交流会の担当は各施設の持ち回りで、担当施設の見学のほか、テーマを持った話し合いが行われます。

市内にありながら、普段はなかなか行き来する時間がとれないため、他の施設を訪問することも楽しみのひとつです。保育室の飾り付けや環境整備を見せていただくことも勉強になります。7施設は

すべて医療機関併設型のため、メンバーは医師、看護師、保育士です。毎年少しずつ趣は違っていますが、少人数・職種別などでのグループ討議や、地域に密着した話題など楽しい親睦会となっています。

さて第3回となりました今年の交流会は平成17年6月4日(土)午後1時から、さとう小児科医院バンピーノで行いました。出席者は30人でした。今回のテーマは「災害時における病児保育室の

対応、対処法」でした。近くにある千葉市緑消防署の方々にご協力をいただき、救急蘇生法に関する講義と実践、火災・地震などに対する心構えも教えていただきました。その後は、さとう小児科医院で作成した「防災マニュアル」をもとに意見交換会、お茶とお菓子で懇親会と、あっという間の4時間でした。

救急蘇生は使う機会がないことを望みますが、今回の参加者からも、「訓練とはいえ、あわててしまってからだが動かなかった。」などの感想があり、いざという時あわてないためには、繰り返し学ぶことで身につけておく必要があると思いました。

愛媛ブロック会から 第4回全国病児保育協議会愛媛ブロック会 むかいだ小児科「キッズハウス」 森田史枝

平成17年5月29日(日)、愛媛県伊予市さざなみ館にて、第4回愛媛ブロック会を行いました。今回は一日を使っただけの勉強会でしたが、4施設23名の参加がありました。初めての参加の方も多かったのですが、皆さんとても熱心で、同じ保育看護に関わる者同士、すぐに打ち解け、活発に意見を交わす事が出来ました。

午前中は消防士の方々による救命救急講習を受けました。対象を乳児～小児とし、人形を使って実際に心肺蘇生法を行ってみたり、AEDと言う器械を用いた応急手当を体験したりして、大切な命を救うために必要な行動を、迅

速に途切れることなく行う重要性を学びました。これは救命の連鎖と言われており“早い通報”“早い応急手当”“早い救急処置”“早い医療処置”と言う四つの連携プレーがスムーズに行われてこそ命を救う事が出来るのです。反対にこの連鎖がひとつでも欠けたら命を助ける事は出来ません。私たちに出来る事は“早い通報”と“早い応急手当”です。気道確保や心臓の位置の確認など、実際にしてみると難しく、戸惑うことも多かったのですが、いざという時に慌てないためにも定期的に講習を受けて知識の再確認をしていくとよいと思いました。

皆で昼食をとりながら雑談の後、午後からはふたつのグループに分かれて交流会を行いました。

1グループのテーマは“薬について”

与薬の工夫や困っていること、解熱剤の使用について、抗けいれん剤について、内服薬についての



疑問、薬の管理について、などが話し合われました。薬についてはどの施設もかなり気を使っているようです。ミスや事故のないように管理のしかたを考えたり、二重、三重の確認をするようにしたりと、各施設の工夫の仕方を聞くことが出来ました。小さな気のゆるみから大きな事故へと発展する事がないように、それぞれの施設の良い所を取り入れながら、病児のための楽しく安全な保育室作りを目指していきたいと思えます。



2グループのテーマは“感染症児の保育と衛生管理について”

空気感染、飛沫感染、接触感染、それぞれの予防策の確認をしたり、実際現場で行われている消毒法や感染症児の保育について話し合いました。感染症児への対応では、きちんとどこまで分けるべきなのか、各施設とも迷う部分

があるようです。施設としての基本を定め、スタッフ同士統一した知識を持ち対応していくことが大切だと感じました。

各グループともにDrの参加もあり、日頃聞けずにいた事にも気軽に且つ丁寧に教えていただきました。愛媛ブロック会はまだまだ

小さな会ですが、その分アットホームで、施設間の交流だけでなく、自施設の現場とDrとの信頼関係を深めるために大きく役立っていると思います。今回参加できなかった施設の皆様も次回はぜひ参加の方向でご検討下さい。きっと明日からの保育につながっていくことと思います。

新規加入の全国病児保育協議会施設

320 星川小児クリニック病児保育室アニモ
院長 山本 淳
〒240-0006
神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川 2-4-1
星川 SFビル 4F
TEL:045-336-2264 FAX:045-336-3344

322 病児保育室プエリ
理事長 片山 啓
〒657-0845
兵庫県神戸市灘区岩屋中町 4丁目 2番 7号
BB プラザ 2F
TEL:078-802-5996 FAX:078-802-5994

323 池田病院 チックタック童夢館
館長 池田 琢哉
〒890-0046
鹿児島県鹿児島市西田 1丁目 4番地 12号
TEL:099-255-3737 FAX:099-255-3737

324 ファミリーサポーター ルピナスさん
看護師 高野 優子
〒358-0006
埼玉県入間市春日町 1丁目 10-7
TEL:04-2965-6576 FAX:04-2965-6576

325 みっばあまむ病児保育るむ吉田店
施設長 中村 優一
〒891-1304
鹿児島県鹿児島市本名町 802-19
TEL:099-294-1933 FAX:099-294-1933

326 ひらのこどもクリニック ひよこのへや
医師 平野 浩次
〒024-0071
岩手県北上市上江釣子 17-219-1
TEL:0197-71-5800 FAX:0197-71-5811

327 保坂病児保育ルーム
副院長 保坂 篤人
〒112-0001
東京都文京区白山 5-27-12
TEL:03-5976-0641 FAX:03-3946-0635

328 くまちゃん病児保育室
院長 隈井 知之
〒486-0928
愛知県春日井市妙慶町 148-1
TEL:0568-31-7525 FAX:0568-34-6412

329 病児保育室 ほほえみ
園長 鬼塚 静波
〒861-4117
熊本県熊本市護藤町 973
TEL:096-357-5622 FAX:096-357-5728

330 病児デイケア ままのて
理事長 野尻 健一郎
〒915-0803
福井県武生市平出 1丁目 12-37 野尻医院内
TEL:0778-22-5000 FAX:0778-22-5000

331 チャイルドハウスくるみ
施設長 芽野 日出樹
〒416-0907
静岡県富士市中島 484-1
TEL:0545-65-4622 FAX:0545-61-6330

332 早川小児科クリニック内 カンガルー
院長 早川 広史
〒950-2015
新潟県新潟市西小針台 2丁目 1-5
TEL:025-234-5650 FAX:025-234-5655

333 病後児保育室「たぬき先生」
院長 後藤 洋一
〒173-0037
東京都板橋区小茂根 1-27-19
TEL:03-5917-8550 FAX:03-5917-8550

334 病児保育室みどりキッズ
施設長 森 美喜夫
〒734-0005
広島県広島市南区翠 2丁目 27-27
TEL:082-251-1787 FAX:082-251-1787

335 あいにく病児保育室
理事長 金田 一郎
〒106-8580
東京都港区南麻布 5-6-8
TEL:03-5420-6419 FAX:03-5420-6419

336 おひさまルーム
所長 土佐 恵美子
〒811-3116
福岡県古賀市鹿部 10-1 鹿部保育所
TEL:092-943-0081



診察室から6

—小児科クリニックでの医療保育(診療介助)—

まず小児科では、午前中は保育士が診察室で医師の診察介助を行っています。医師が診察しやすいように、気配りすることが大切ですが、同時に、診察を受ける子ども達の不安や病院に対する恐怖心を少しでも和らげてあげられるような言葉がけや対応を心がけています。

診察介助の手順は、次のように行います。

- (1) 診察室から名前を呼び、子どもと保護者を招き入れます。
- (2) 医師が聴診する際、服を持ち上げます。その時に、「もしもしようねー」など子どもが不安がらないような言葉がけをおこないます。
- (3) 医師が、喉や耳を診る際に、頭を支えます。子どもが舌圧子を払いのけないように保護者に「手を持ってくださいね」と伝え、安全に配慮します。嫌がる子どもが多いので、「頑張って」と励ましの言葉をかけます。
- (4) 医師が保護者に説明している間に、保護者が説明に集中できる

ように人形や絵本を見せたりして子どもの相手をします。乳児の場合は抱っこしたり、服を着せます。(5) 予防接種の場合は、子どもが暴れないように、しっかり固定します。注射が終わった後は、絆創膏をはり、「頑張ったね」と褒めて、ご褒美のおもちゃを手渡します。

(6) 診察が終わったら、保護者には、「お大事にしてください」、子どもには、「バイバイ」と手を振ります。子どもが出てゆくのをしっかりと最後まで見送ります。

診察介助を行うメリットは、次のようなことがあります。

- (1) 医師のそばで病気の特徴やその対処法が聞けるため、医学的な知識を深めることができる。
- (2) 病児保育・待合保育に携わる際、お母さんの質問に対し医師の考えと同じ対応ができる。
- (3) 病児の日頃の様子や親子の様子を保育室の外で見ることができる。
- (4) 名前を呼ぶので、名前を覚えられる。待合保育の時に名前を覚

病児保育室「バンビ」

医師 増田 宏

えていると子どもに話しかけやすい。名前を覚えていると保護者も安心して、保育士に心を開いてくれる。

逆に問題となるのは、時には注射など子どもにとって嫌な場面に保育士がいることで、保育士に対する信頼感が損なわれないかという点です。保育士は、絶対的な子どもの味方でなければならない、だから痛いことを行う場にはいけないという考え方があります。しかし、私たちは、不安な場面だからこそ、保育士が子どもの不安や恐怖を取り除き、つらい処置の後でしっかり褒めてあげるといった対応や言葉がけができるのではないかと考えています。

今回は、待合での保育について紹介します。



し〜保育日誌6

魚釣り

画用紙に魚を描き(印刷で大量に作っておく)それにクリップをつける。

釣りざおは割り箸を利用し、その先にひもをつけて磁石をつける。



ビニール袋を海に見立てて、その中に魚達を泳がし?それを釣り上げる。

こひつじでは、飼育している金魚(きんちゃんとくろちゃん)のお友達がやってきた!と想定する事もよくします。

釣った魚をごっこ遊びの中で取り入れ、お皿に盛り付けたり、お刺身したりと発展させて遊びます。

おままごとの写真のように、ここには入っていないのですが、魚屋さんしたり、お絵かき先生

病児保育室こひつじ

保育士 清水 麻利子



をホットプレートに見立て焼きま
す。

磁石のくっつきかたが何ともボ
ヨヨ～ンとしていて、くっついた
時はどの子どもとってもいい表情で
すよ。



新規加入の全国病児保育協議会施設

337 鶴見なないろ保育園

園長 中村 博恵

〒538-0044

大阪府大阪市鶴見区放出東3丁目30-5

TEL:06-6969-6500 FAX:06-6969-6500

338 医療法人おおにしこどもクリニック

院長 大西 正純

〒442-0842

愛知県豊川市蔵子6丁目11-15

TEL:0533-85-1611 FAX:0533-83-0339

339 浦安中央病院病後児保育室ぱんだルーム

病院長 高須 信美

〒279-0021

千葉県浦安市富岡3-2-6

TEL:047-352-2115 FAX:047-352-2118

340 Loving Hug

病院長 梅田 肇

〒743-0022

山口県光市虹ヶ浜3-6-1 梅田病院

TEL:0833-71-0084 FAX:0833-71-0818

341 二本垣医院 こぼと保育室

医師 二本垣 まち子

〒938-0031

富山県黒部市三日市1062

TEL:0765-52-1602 FAX:0765-52-1602

342 ますだ小児科内科医院保育室びっきーハウス

院長 増田 憲治

〒859-0407

長崎県諫早市多良見町シーサイド20-135

TEL:0957-43-7800 FAX:0957-43-7311

343 豊前市立ちづか保育園

豊前市長 釜井 健介

〒828-0053

福岡県豊前市大字千束78番地の1

TEL:0979-82-2842 FAX:0979-82-2842

344 あい愛診療所撫養 病児保育部木のおうち

院長 小川 裕子

〒772-0003

徳島県鳴門市撫養町南浜字浜田130番地

TEL:088-686-6362 FAX:088-686-6356

345 おおつか保育園 病後児保育室

理事長 萬代 輝正

〒693-0063

島根県出雲市大塚町790-1

TEL:0853-23-4384 FAX:0853-21-7294

346 東町のびやか保育園

園長 田代 久枝

〒966-0053

福島県喜多方市字石田4041-2

TEL:0241-21-1303 FAX:0241-23-0077

347 エンゼル幸

施設長 武田 行

〒212-0015

神奈川県川崎市幸区柳町55-3

TEL:044-555-6741 FAX:044-555-6741

348 こどもケアハウスのびのび

施設長 富田 尚文

〒834-1221

福岡県八女郡黒木町大字今548

TEL:0943-42-0673 FAX:0943-42-3722

349 小池やすはら小児クリニック

病児保育室ぐるんぱ

院長 安原 伸吾

〒720-0814

広島県福山市光南町1-5-23

TEL:084-932-3512 FAX:084-932-3518

350 平田内科小児科医院

副院長 平田 優子

〒738-0053

広島県廿日市市阿品台4丁目1番26号

TEL:0829-39-1155 FAX:0829-39-1156

351 マリアン・キッズ・ハウス

理事長 井出 義雄

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422 聖マリア病院

TEL:0942-35-3322 FAX:0942-34-3115

352 目黒ゆうあいクリニック

病児保育室「スマイル」

小児科 武井 章人

〒153-0065

東京都目黒区中町2-30-5 敦岡ビル

TEL:03-3710-6719 FAX:03-3710-6719

353 病児保育室イルカ・ルーム

室長・医師 岩坪 秀樹

〒153-0065

東京都八王子市西片倉3-1-4

第二みなみ野クリニックセンター3F

TEL:0426-37-3019 FAX:0426-37-3019



通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただきます。ニュース等に掲載させていただきます。

送付先: FAX 06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

好評販売中です

「病児保育10年のあゆみ」

病児保育協議会が発足してから12年目を迎えました。発行計画から2年おくれましたが、みなさん待望の10周年記念誌「病児保育10年のあゆみ」がやっと完成しました。発足から10年間の協議会の歩みを網羅した貴重な資料を豊富に掲載しています。ぜひ、御購入ください。

B5版 104頁

内容

第1部祝辞、第2部座談会、第3部10周年今後の課題、第4部病児保育の現場から、第5部保護者・利用者の立場から、第6部資料

価格は1冊1600円(送料・税込み)

申込は、全国病児保育協議会事務局まで

新規加入の全国病児保育協議会施設

354 伊勢原協同病院 病後児保育室
 病院長 別所 隆
 〒259-1132
 神奈川県伊勢原市桜台 2-17-1
 TEL:0463-94-2148 FAX:0463-94-2148

355 わかば保育園病後児保育室
 園長 永田 めぐみ
 〒433-8108
 静岡県浜松市根洗町 645 番地 1
 TEL:053-437-0822 FAX:053-439-4734

356 社会福祉法人和泉幸生会 幸保育園
 理事長 田中 正人
 〒594-0005
 大阪府和泉市幸 2丁目7番44号
 TEL:0725-41-1385 FAX:0725-41-1386

357 チャイルドケアハーモニイ
 院長 畑 寛信
 〒701-0164
 岡山県岡山市撫川 1470 撫川クリニック内
 TEL:086-292-8133 FAX:086-292-8155

358 チャイルドケアハウスわかすぎ
 理事長 高崎 裕文
 〒889-2533
 宮崎県日南市大字星倉 4482-1
 TEL:0987-23-5565 FAX:0987-23-6263

359 わんわん乳児保育園
 施設長 竹田 伸
 〒536-0005
 大阪府大阪市城東区中央 3-7-4
 TEL:06-6939-7711 FAX:06-6939-8877
 これ以降の加盟施設は次号で

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

< 協議会ニュース 編集事務局 >

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5

(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛

TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788

E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所：大分県大分市大字片島 83-7 大分こども病院気付

担当：伊東 美紀 電話：097-567-0050(代表) FAX：097-568-2970